

「生徒指導の実践上の視点」を踏まえた授業づくりのためのチェックリスト

年 月 日 ()

学校 年 組 授業者名

記入者名

視点	No.	手立て(項目)	自己評価				平均値
自己存在 感の感受	1	授業の中で児童生徒一人一人に役割をもたせることで、自己の存在を実感できるようにしている。	4	3	2	1	No.1～ 5までの 平均値 ↓
	2	児童生徒の思いや願いを基に活動に取り組めるよう、学習過程を工夫している。	4	3	2	1	
	3	児童生徒のつぶやきに耳を傾け、その考えを価値付けたり、全体で共有したりしている。	4	3	2	1	
	4	授業の中で児童生徒の姿を捉えて、具体的な姿を基に、承認や称賛、励ましを行っている。	4	3	2	1	
	5	課題解決の過程を振り返り、学びの成果等を実感することができる場面を設定している。	4	3	2	1	
共感的な 人間関係の 育成	6	教員自らが相手の立場に立って考え、発言する姿勢を示している。	4	3	2	1	No.6～ 10までの 平均値 ↓
	7	児童生徒の話合いが活発になるよう、話合いの目的や視点を明確に示している。	4	3	2	1	
	8	ペアやグループによる対話を通して児童生徒の学びが深まるよう、教員による適切な問い返しや考えをつなぐコーディネートをしている。	4	3	2	1	
	9	「なぜそう思ったのか」を説明し合ったり、「どうすればできるようになるのか、よりよくなるのか」を全体で考えたりする場面を設定している。	4	3	2	1	
	10	互いのよさを認め合ったり、励まし合ったりするために、相互評価の場面を設定している。	4	3	2	1	
自己決定の 場の提供	11	児童生徒自身が、単元(題材)や本時の終末で、何をどのようにできていればよいかの見通しがもてるよう、単元(題材)や本時のゴールを児童生徒と共有している。	4	3	2	1	No.11～ 15までの 平均値 ↓
	12	課題解決に向け、個人で調べたり、考えたりする時間を保障している。	4	3	2	1	
	13	根拠を示しながら、自らの意見をまとめたり、表現したりする場面を設定している。	4	3	2	1	
	14	対話や議論を通して、課題解決に向けて試行錯誤をすることができる場面を設定している。	4	3	2	1	
	15	児童生徒が自己の学びを実感し、新たな問題(課題)を発見できるよう、振り返りの視点や方法を明確に示している。	4	3	2	1	
安全・ 安心な 風土の 醸成	16	授業における約束事を児童生徒と共有している。	4	3	2	1	No.16～ 20までの 平均値 ↓
	17	授業開始時刻と同時に授業を始め、授業終了時刻と同時に授業を終えるようにしている。	4	3	2	1	
	18	教員自らが適切な言葉遣いや関わり方を心掛け、児童生徒の模範となっている。	4	3	2	1	
	19	児童生徒が自分の考えや思いなどを安心して表現することができるよう、互いに傾聴し合う雰囲気づくりをしている。	4	3	2	1	
	20	児童生徒が安心して意見を述べることができるよう、ICTを活用するなどの多様な表現方法を設定している。	4	3	2	1	

自己評価 4:よくしている 3:時々している 2:あまりしていない 1:ほとんどしていない